



委員会:

# 国連環境計画

United Nations Environment Programme

議題:

Addressing the disproportionate impact of climate change on biodiversity and ecosystems, exploring conservation strategies and nature-based solutions.

## 国連環境計画 (UNEP)

### 委員会の概要

#### 委員会の歴史

国連環境計画 (UNEP) は1972年のストックホルム会議で設立された、環境問題に焦点を当てた国連 (UN) の専門部局である。UNEPの活動の中心は、環境問題への取り組みに関して国際協力を推進し、科学的な情報やデータを提供するとともに、持続可能な解決策と実践を世界的に推進することである。

UNEPは、環境保全、天然資源保護、気候変動への対応に向けた世界的な取り組みを調整する上で極めて重要な役割を果たしており、その統治と政策決定プロセスに関して、常設代表委員会 (CPR) の監督下で活動している。

#### 環境関連の重要な出来事

- I. 国連が環境指導的役割を担う - 1968年、事務総長が報告書を発表し、人間環境に関する国連会議が開催された。
- II. 世界環境デーの始まり - 1973年6月5日、UNEPが主催する初の世界環境デーが開催された。
- III. オゾン層の保護に関するウィーン条約の調印 - 1985年にすべての国連加盟国が調印した最初の条約で、各国がオゾン層破壊の根本原因に関する情報を共有できる枠組みを提供した。
- IV. 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) の発足 - 1988年に発足したこのパネルは、気候政策の立案に利用できる科学的情報を各国政府に提供することを目的としている。
- V. 気候変動枠組条約調印 - 1994年に調印されたこの枠組みは、温室効果ガ

スの排出が地球の気候システムを劇的に変化させる前に、その流れを食い止めるための枠組みを定めたものである。[Unep. "50 Years of Environmental Milestones".

UNEP,

[www.unep.org/environmental-moments-unesp50-timeline#:~:text=Founded%20in%201972%20following%20the,to%20the%20world's%20environmental%20challenges.](http://www.unep.org/environmental-moments-unesp50-timeline#:~:text=Founded%20in%201972%20following%20the,to%20the%20world's%20environmental%20challenges.)]. VI. 国連砂漠化防止条約の採択-1994年に採択されたこの条約は、環境と開発を持続可能な土地管理に結びつける唯一の法的拘束力のある国際協定である。[国連環境計画 "50 Years of Environmental Milestones". UNEP,

[www.unep.org/environmental-moments-unesp50-timeline#:~:text=Founded%20in%201972%20following%20the,to%20the%20world's%20environmental%20challenges.](http://www.unep.org/environmental-moments-unesp50-timeline#:~:text=Founded%20in%201972%20following%20the,to%20the%20world's%20environmental%20challenges.)]. VII. ヌサドゥア宣言の調印 - 2010年に調印された宣言は、「グリーン」経済の利点、生物多様性の重要な関連性、気候変動を根絶する緊急の必要性を強調している。 VIII. SDGsの採択 - 2015年に採択された持続可能な開発に関する新たなグローバル・アジェンダに含まれる17の目標は、より良い未来に向けた人類の展望を表している。 IX. モンテビデオ・プログラムの採択 - 2019年に採択されたもので、国内、地域、世界規模での環境法の制定、提唱、実践に貢献する戦略的活動に支えられた目標を含む。 X. 国連人権高等弁務官会議（UNHRC）の決議採択 - 2021年に採択されたこの決議は、清潔で健康的かつ持続可能な環境を享受する権利を人権として認めるものである。

## 背景情報

国連環境計画（UNEP）は1972年、人間環境に関する画期的な国連会議の後に設立された。UNEPは環境に関する世界的な権威であり、それゆえ環境保護とその取り組みの実行に大きな役割を担っている。以下は国連環境計画に関するいくつかの重要な要素である：

### 1. 使命と目的

- UNEPは環境問題に取り組み、人々が持続可能な生活を送れるよう鼓舞し、情報を提供し、人々が将来の世代の生活を犠牲にすることなく資源

を利用できるようにすることを目的としている。

- 政府、市民社会、民間部門、その他の国連機関と協力し、差し迫った環境問題に取り組む。
- UNEPの活動は、オゾン層破壊の最小化から世界の海の保護、グリーンで包括的な経済の推進まで、幅広い問題に及んでいる。

## 2. 三重の地球危機

- UNEPは、気候変動、自然・生物多様性の損失、汚染という3つの地球規模の危機への対応に重点的に取り組んでいる。
- その取り組みには、各国が低炭素で資源効率の高い経済へ移行するのを支援すること、環境ガバナンスを強化すること、生態系を保護すること、政策決定のための証拠を提供することなどが含まれる。

## 3. 持続可能な開発目標（SDGs）：

- UNEPは世界有数の環境機関であり、193の加盟国が持続可能な開発目標（SDGs）を達成できるよう支援している。
- UNEPは、汚染のない未来を築き、気候を安定させ、環境とバランスの取れた生活を奨励するよう努めている。

## 4. 50周年

- UNEPは2022年に創立50周年を迎え、これまでの50年間の環境面での成果を振り返った。
- UNEPは、環境問題を解決し、持続可能な未来に向けて努力するための重要な存在であり続ける。

## 委員会が直面する問題

限られた資源：気候変動と生物多様性の損失がもたらす課題の規模と緊急性は、効果的な行動のために多大な資金と人的資源を必要とする。2022年10月24日から28日まで開催された会議では、資金調達の柔軟性と制限的な性質が提起された。

国際協調：気候変動や生物多様性の損失といった問題は、総合的なアプローチが必要であり、UNEPは他の国々と協調しなければならない。しかし、気候変動はすべての加盟国にとって重要な問題であるにもかかわらず、すべての加盟国がこの問題について優先的に取り組んでいるわけではない。

複雑な相互作用：生態系と生物多様性は、いくつかの環境変数と関連している。

UNEPだけでこのような複雑性を理解するのは難しい。

政治的意志と政策実施：世界銀行の報告書によると、各国は汚染の優先順位を特定することが難しいと感じている。政治的意志と政策の実施は加盟国によって異なり、UNEPの取り組みの成功を妨げる可能性がある。

技術移転：UNEPは、技術は情報伝達のための有用な手段であると考えているが、同時にUNEPの目的に反する汚染や天然資源の過剰消費に関連する環境リスクをもたらす可能性もあると考えている。

このように多くの困難があるが、UNEPとその提携組織、政府、国際社会は、問題を解決し、実施の効果を高めるために最善の努力を続けている。

## 主な定義

不均衡な影響：気候変動が様々な種、生態系、地域に及ぼす不平等な影響を指し、多くの場合、特定の個体群や生息地により深刻な結果をもたらす。

緩和：温室効果ガスの排出を減らし、炭素貯留を強化することで、気候変動の深刻さを軽減または防止する取り組み。

生態系の回復力：本質的な構造、機能、フィードバック機構を維持しながら、攪乱に耐え、そこから回復する生態系の能力。

生態系の回復：劣化した生態系を修復、修復、再構築し、生態系の構造、機能、回復力を回復させるプロセス。

保全戦略：生息地の損失、汚染、気候変動などの脅威から生物多様性と生態系を保全・保護することを目的としたアプローチ。

生物多様性：生態系、種、遺伝的多様性を含む地球上の生物の多様性と変動性。生物多様性は、生態系の安定性と回復力の維持に重要な役割を果たしている。

生態系：相互に結びついた生物群集とその物理的環境を指し、動的で複雑なシステムとして機能する。生態系は、食料、水、気候調節などの重要なサービスを提供している。

## 議題の概要

### 議題と委員会の目的・目標

議題 -気候変動が生物多様性と生態系に及ぼす不釣り合いな影響に対処し、保全戦略と自然に基づく解決策を探る。

国連環境計画（UNEP）は、その化学物質・衛生部門を通じて、化学物質と廃棄物管理に焦点を当てた世界的な課題への対応に重要な役割を果たしている。

以下の項目はUNEPの目標の一部である：

1. 鉛塗料：鉛を主成分とするペンキは健康被害をもたらす：UNEPの取り組みには、意識向上、代替品の促進、規制の提唱が含まれる1[Environment, UN. "新たな問題"。 2. 製品に含まれる化学物質：製品に含まれる化学物質：UNEPは、製品の代替品やラベル表示を改善し、さまざまな製品に含まれる化学物質の使用を最小限に抑えることを目指している。
3. 環境残留性医薬品汚染物質：UNEPのこの部門は医薬品の環境問題を扱い、持続可能な廃棄と管理に注意を促している。
4. 内分泌かく乱化学物質：UNEPは、内分泌かく乱化学物質が人間の健康や生態系に与える影響を軽減するよう取り組んでいる。

5. 危険性の高い農薬： UNEPは、より安全な農薬の使用と、危険な化学物質の代替を目指す。
6. 持続可能な化学： UNEPは有害な化学物質の使用を最小限に抑えることを計画しており、抗菌剤耐性、鉛とカドミウム、プラスチックに含まれる化学物質に焦点を当てている。

議題の主な内容は以下の通り：

不均衡な影響の認識： 気候変動が脆弱な種、生態系、地域社会に不釣り合いな影響を及ぼし、生態系の破壊と社会経済的不平等を増幅させることを認識する。

生物多様性保全の重視： 生態系の回復力を高め、気候変動の影響を緩和するために不可欠な対策として、生物多様性の保全と生態系の回復の取り組みを優先する。

先住民の知識の統合： 持続可能な資源管理と回復力構築を確実にするため、気候変動への適応と生物多様性保全の取り組みに先住民の知識と地元の視点を統合する。

持続可能な開発と気候正義への取り組み： 持続可能な開発目標と気候正義の原則を整合させ、脆弱な人々のニーズと権利を優先し、公平性と社会的包摂を促進し、弾力的で持続可能なコミュニティを育成する。

#### 国連の対応（実施された措置）

気候変動対策：

- 気候透明性： UNEPは、報告書作成のための技術的・財政的支援や、高品質で信頼できる情報公開された気候・環境データ、情報、統計、科学的評価や専門知識の支援を通じて、各国が透明性強化枠組みを採用するのを支援する。  
UNEPはまた、開発途上国、特にLDCとSIDSにおける気候情報サービスと影響に基づくマルチハザードの早期警報システムのための国家能力の構築と開発にも力を入れています。

- 適応と回復力： UNEPは50カ国以上で、気候変動への適応に関する75以上のプロジェクトを支援してきた。これらのプロジェクトを合わせると、約270万人がその恩恵を受け、13万1,000ヘクタールの土地が回復し、10万2,000人と131の機関が気候変動適応に関する知識を向上させ、1,100以上の貯水構造と82の測候所を建設することになる。
- 気候金融： UNEPは、投資決定の方法を変え、金融業界と協力し、低炭素で耐性のある開発に向けた公共投資と民間投資の流れを促進する。
- 緩和： UNEPは、エネルギーシステム、産業、建築物、運輸、AFOLU部門からのCO2排出を削減するための、費用対効果が高く利用可能な解決策を推進し、排出ギャップの解消に貢献します。緩和とは、新技術や再生可能エネルギーの利用、古い設備のエネルギー効率化、消費者行動の変化などを意味する。新しい都市計画のような複雑なものから、調理用コンロの設計を改善するような単純なものまでである。森林伐採の中止や撤回から、地下鉄のハイテク化、サイクリングロードの整備まで、世界各地でさまざまな取り組みが行われている。

自然保護活動：

- 大気の質： UNEPは、大気汚染の発生源とその影響に関する理解を深め、法規制を支援し、排出量の多い部門全体の行動と政策を促進し、地域協力と世界的なアドボカシー活動を推進することにより、きれいな空気に関する各国政府の能力を強化する。
- 化学物質と汚染物質の行動： UNEPは、健全な化学物質と廃棄物管理の経済的、環境的、健康的な利点を実証する共同アプローチを推進しています。各国は多国間環境協定を通じて、大気、土壌、水質汚染、有害化学物質への曝露に関する課題に積極的に取り組んでいる。
  - UNEPは、最近採択された「化学物質に関するグローバル・フレームワーク」を実施するための戦略と行動を策定するため、部門を超えた協力体制を支援する上で主導的な役割を果たしている。



## 討論の範囲

### 討論会で想定される質問

1. 地球規模の気候変動は、どのような形で様々な種や生態系に不均衡な影響を与えるのか？
2. 保全戦略の実施効果を高めるために、どのような方法で技術を利用できるか？
3. UNEPの取り組みを成功させるために、政府はどのような方法で協力できるのか？
4. 現在のパレスチナとイスラエルの紛争は、自然に基づく解決策の成功にどのような影響を与えるのか？
5. 加盟国は、生物多様性と気候変動に関する決定が包括的であり、脆弱な地域社会を含む様々な視点を考慮したものであることをどのように確保できるのか？
6. 気候変動は具体的に生物多様性にどのような影響を与え、UNEPは気候変動による生物多様性への影響をどのように緩和する予定なのか？

### 参考文献

1. UNEP. “50 Years of Environmental Milestones.” *UNEP*, [www.unep.org/environmental-moments-unesp50-timeline](http://www.unep.org/environmental-moments-unesp50-timeline) Accessed 3 Feb. 2024.
2. “Regional Cooperation, Funding Needed to End ‘nightmare’ of Violence Lived by 1 Billion Children around World, Mandate Holders Tell Third Committee | UN Press.” *United Nations*, United Nations, [press.un.org/en/2017/gashc4200.doc.htm](http://press.un.org/en/2017/gashc4200.doc.htm). Accessed 4 Feb. 2024.
3. *UN Environment Document Repository Home*, [wedocs.unep.org/](http://wedocs.unep.org/). Accessed 4 Feb. 2024.
4. *UN Environment Document Repository Home*, UN, [wedocs.unep.org/](http://wedocs.unep.org/). Accessed 4 Feb. 2024.
5. “Facing Our Global Environmental Challenges Requires Efficient International Cooperation.” *UNEP*, [www.unep.org/news-and-stories/editorial/facing-our-global-environmental-challenges-requires-efficient](http://www.unep.org/news-and-stories/editorial/facing-our-global-environmental-challenges-requires-efficient). Accessed 7 Feb. 2024.
6. Environment, UN. “For People and Planet: The UNEP Strategy for 2022–2025.” *UNEP*, [www.unep.org/resources/people-and-planet-unesp-strategy-2022-2025](http://www.unep.org/resources/people-and-planet-unesp-strategy-2022-2025). Accessed 7 Feb. 2024.

7. Environment, UN. “Addressing the Implementation Gap.” *Beat Pollution*, [www.unep.org/beatpollution/take-action/addressing-implementation-gap](http://www.unep.org/beatpollution/take-action/addressing-implementation-gap). Accessed 8 Feb. 2024.
8. Environment, UN. “Digital Transformations.” *UNEP*, [www.unep.org/topics/digital-transformations](http://www.unep.org/topics/digital-transformations). Accessed 9 Feb. 2024.
9. “COP 28: What Was Achieved and What Happens Next?” *UNFCCC*, <https://unfccc.int/cop28/5-key-takeaways#solutions>. Accessed 9 Feb 2024.



University of Tsukuba

# UNIVERSITY OF TSUKUBA

## - Brief Information about the University

The University of Tsukuba is **one of the top national universities in Japan** with diverse international programs taught in English. The main campus in Tsukuba City, Ibaraki Prefecture, provides quick access to **central Tokyo within 45 minutes** by train, plus an environment where you can concentrate on your studies and research **away from the hustle and bustle of the city**.

## - Available undergraduate programs in English and Application Periods



## - Admissions Requirements

“Completion/expected completion of 12-year formal education in a country other than Japan”

\*Please check the application guidelines or ask the contact address below for more details and other conditions.

including **IB DP** and **CBSE**

## - Cost

<b>Admission Fee</b>	JPY 282,000
<b>Tuition Fee</b>	JPY 535,800/year
<b>Living Cost</b> (Including accommodation)	JPY 80,000/month

Various scholarships are available as well.



## - Campus Photo Album

Check the pictures of our beautiful campus from here!! ▶



## - Contact details

ac.intl@un.tsukuba.ac.jp

### Hot Topic!!

From the entrance examination for 2025 intake, the **students only with Japanese passport can apply** to all 4 programs above. Please check the application guidelines for more details of the requirements and conditions.



# Global BBA in Japan

Education for Life and Leadership



**NUCB** Undergraduate School

Komenoki, Nisshin Aichi Japan Tel: +81(0)561-73-3006  
Email: [intl\\_adm@nucba.ac.jp](mailto:intl_adm@nucba.ac.jp) [www.nucba.ac.jp/en](http://www.nucba.ac.jp/en)

# The University of Aizu

Education of Computer Science and Engineering in English

THE  
2023 Japan  
University Rankings

24th



100%

## High Employment Rate

Our graduates are employed at a rate of nearly 100% every year.



**Rich Campus Life**  
Library, Dormitory, and Athletic Spaces are available on campus.



## Advanced Environment

Ratio of internet-enabled computers to students is 3:1



## Fees

Tuition fee (annual): 520,800 JPY  
Admission fee: (one-time payment) 564,000 JPY

## Top Global University in Japan

The University of Aizu was established in 1993 as the first university in Japan solely dedicated to **Computer Science and Engineering**. We foster ICT experts through content-rich fundamental education, a comprehensive choice of areas to major in, and advanced teaching methods. We are proud of our outstanding faculty who are experts in their specialized fields. Approximately **40% of the faculty members are foreign nationals**, which creates a high-level global education and research environment.

### Admission:

Application: End of Feb. – End of March, 2025  
Enrollment: Oct.1, 2025

\*For more information, please visit the QR below.

### Application Requirements:

#### Academic Proficiency:

Class XII exams, IB, EJU, ACT, A-LEVEL, AP, HKDSE, STPM, UEC, or Gaokao.

#### Test Scores of English:

TOEFL-iBT, TOEIC, IELTS, Eiken, or other

### Submission Documents:

- Application Form
- Diploma or Certificate of Expected Graduation
- Certified Transcript of High School
- Letter of Recommendation
- Academic Transcripts
- Test Score of English
- Statement of Financial Support
- A Photocopy of Passport/ Resident card
- Examination Fee 17,000 JPY

Download the  
application forms



### Contact Us

sgu-admission@u-aizu.ac.jp



Hi, I am Dwitipriya (ブリア). I am a 3rd year undergraduate student at the University of Aizu's ICTG program.

The University of Aizu's flexible educational approach, broad curriculum, diversity and friendly atmosphere is something that appealed to me greatly. Pursuing education here is an excellent opportunity for learning as well as overall personal growth. You will find just the perfect blend of a fruitful academic period and an adventure and thrilling lifestyle. Hoping to meet everyone soon!



*Study at the Crossroads of Culture and Technology*



**Engineering**

Bachelor Master Doctor

**Bioenvironmental Sciences**

Bachelor

OPENS  
in 2025

**Global Business and Economics**

Bachelor

OPENS  
in 2025

**Kyoto University of Advanced Science**

International Admissions Office

✉ [admission@kuas.ac.jp](mailto:admission@kuas.ac.jp)

🔍 [www.kuas.ac.jp/en/](http://www.kuas.ac.jp/en/)



**OPPORTUNITIES FOR GROWTH**

- Study abroad opportunities
- Internship opportunities
- Field Studies
- Double Degree Program  
with San Francisco State University

Non-Japanese  
**70%** Faculty

**100%** English Education

**100%** Study Abroad



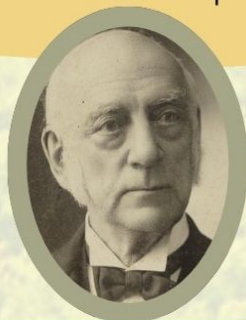
**37%** Japanese Students

**13%** Returnees  
**25%** International Students

**25%** Exchange Students

**DIVERSE FACULTY FROM SEVERAL PARTS OF THE WORLD!**

Founded in 1863 by Dr. James Curtis Hepburn, Meiji Gakuin University is one of the oldest universities in Japan!



International campus situated in Totsuka, Yokohama!



The Department of Global and Transcultural Studies was founded in 2011 and is home to over 250 resident students!



Admissions Information!

**Join us on Social Media!**



## English-medium Undergraduate Programs



GLA

College of Global Liberal Arts,  
Dual degree program with The Australian National University

JDP

College of International Relations,  
American University-Ritsumeikan University Joint Degree Program

GS

College of International Relations,  
Global Studies Major

CRPS

College of Policy Science,  
Community and Regional Policy Studies Major

ISSE

College of Information Science and Engineering,  
Information Systems Science and Engineering Course

Drop by our booth to learn more!



International Admissions Office

TEL: +81(0)75-465-8162 E-mail: [hello@st.ritsumeikan.ac.jp](mailto:hello@st.ritsumeikan.ac.jp)

<https://en.ritsumeikan.ac.jp/e-ug/>

Join our events!





# INTERNATIONAL COLLEGE OF LIBERAL ARTS

山梨県 YAMANASHI PREFECTURE



**9:1**

Student to faculty ratio

**55+**

Nationalities

**90%**

Of full time faculty members educated overseas

**80%**

International students

**60+**

Partner Universities

**90min**

From central Tōkyō

## Curriculum

iCLA offers six majors:

- > Global Business and Economics
- > Interdisciplinary Arts
- > Interdisciplinary Data Science
- > Japan Studies
- > Political Science
- > Psychology

## Application dates

Intake	Admission Category	Application Period	
		Starting Date	Closing Date
Spring 2025	> Degree-seeking students > Transfer students <i>(applicants who need a student visa)</i>	Apr 1, 2024	Nov 18, 2024
	> Degree-seeking students > Transfer students <i>(applicants who have a valid status of residence)</i>		Jan 24, 2025
Fall 2025	> Degree-seeking students > Transfer students <i>(applicants who need a student visa)</i>	Sep 2, 2024	Apr 14, 2025
	> Degree-seeking students > Transfer students <i>(applicants who have a valid status of residence)</i>		May 30, 2025

## Tuition and Other Fees (Prices in JPY)

Tuition and Other Fees	First Year	Second Year and Onwards
Enrollment Fee	200,000	-
Tuition, Faculty and Equipment	1,596,000	1,596,000
<b>Total</b>	<b>1,796,000</b>	<b>1,596,000</b>

## Accommodation/Meal Plan (Prices in JPY)

iCLA is a residential campus with men's and women's dorms attached to our building. Living in the dorms is mandatory for all first year students.

Room and Meal Plan	Fee
Room and Utilities*	600,000/year
Meal Plan	Approx. 350,000/year (3 meals/day on class days)

## Scholarships

Type	Amount of Exemption*	Selection Criteria
I	Full (100% tuition)	> Academic Achievement > Extracurricular Achievements > Financial Need
II	3/4 (75% tuition)	
III	Half (50% tuition)	
IV	1/4 (25% tuition)	
V	1/10 (10% tuition)	

**CONNECT WITH US**

General Inquiries: [icla.contact@c2c.ac.jp](mailto:icla.contact@c2c.ac.jp)  
Admission Inquiries: [i.admission@c2c.ac.jp](mailto:i.admission@c2c.ac.jp)

TEL: +81-55-224-1350  
[www.icla.ygu.ac.jp](http://www.icla.ygu.ac.jp)

[iCLA \(International College of Liberal Arts\)](#)  
 [icla.ygu](#) [icla\\_ygu](#) [iclajapan](#)

# Japan's Premiere Liberal Arts College

Expand your potential through liberal arts



**3,000**

Undergraduate enrollment



**50+**

Countries & Regions Represented by Students



**#1 Ranked**

Private University in 2019, 2020, 2021 and 2023

\*Times Higher Education Japan University Rankings



**5 years**

Complete B.A. and M.A. in "5-year Program"



**2 Languages**

Bilingual Education

## 31 Majors

Students declare a major, a double major or a major and a minor at the end of their second year.

- Art and Cultural Heritage
- Music
- Literature
- Philosophy and Religion
- Economics
- Business
- History
- Law
- Public Policy
- Politics
- International Relations
- Sociology
- Anthropology
- Biology
- Physics
- Chemistry
- Mathematics
- Information Science
- Language Education
- Linguistics
- Education
- Psychology
- Media, Communication and Culture
- Japan Studies
- American Studies
- Asian Studies
- Gender and Sexuality Studies
- Development Studies
- Global Studies
- Peace Studies
- Environmental Studies

## OPEN CAMPUS

7/20 (Sat) , 8/16~17 (Fri & Sat)

10:00~16:00

At Mitaka, Tokyo Campus

## ADMISSIONS

India Senior School Certificates awarded by CBSE, and Indian Certificates of Secondary Education awarded by CISCE are accepted as Educational Certification for English Language Based Admissions (April & Sept. Entry)





TOKYO  
INTERNATIONAL  
UNIVERSITY

## A TRULY GLOBAL EDUCATIONAL EXPERIENCE

Tokyo International University's E-Track Program provides students from around the world the opportunity to earn a degree in an all-English curriculum from the heart of Japan. As a leading international university, TIU will help you grow and develop the skills you need to launch your global career.

### BUSINESS ECONOMICS

The Business Economics major is for students who aspire to work in the fields of international business or economic policy. In this major, students learn economics in a composite framework and explore ways of applying their knowledge in the business context.

### DIGITAL BUSINESS AND INNOVATION

The Digital Business and Innovation major is for students who wish to learn about the latest digital technologies and develop the skills needed for true innovation in the business world. It contains the key concepts of digital transformation, such as AI, big data, and fintech.

## NEW IKEBUKURO CAMPUS

### INTERNATIONAL RELATIONS

The International Relations major is for students who strive to contribute to international society from a global perspective. The central themes of the major include international cooperation, as well as the nature and causes of conflict, poverty and war.

## WE OFFER

### TUITION REDUCTION SCHOLARSHIP

Up to 100% of tuition fee reduction for all 4 years

### Model United Nations SCHOLARSHIP

Enrollment fee waiver

## WHY CHOOSE TIU

- Practical courses to refine skills
- World-class diversity in the capital of Japan
- Active learning, small classes
- Japanese courses for your career
- Study opportunities

## CONTACT US

### TIU E-Track Admissions Center

4-23-23 Takadanobaba, Shinjuku, Tokyo  
169-0075 Japan

Tel: 03-3362-9644

E-mail: [etrack-admissions@tiu.ac.jp](mailto:etrack-admissions@tiu.ac.jp)  
<https://www.tiu.ac.jp/etrack/>





# CROWN INSTITUTE OF HIGHER EDUCATION

www.cihe.edu.au



## Study in Australia

Australia offers world-class education, diverse cultural experiences, and a welcoming environment in stunning natural surroundings.

## OUR COURSES



### Accounting

Diploma of Accounting  
CRICOS Course Code: 105688A

Bachelor of Accounting  
CRICOS Course Code: 099311M

Master of Professional Accounting  
CRICOS Course Code: 114297H

Master of Professional Accounting Advanced  
CRICOS Course Code: 114298G



### Entrepreneurship and Innovation

Diploma of Entrepreneurship and Innovation  
CRICOS Course Code: 105689M

Bachelor of Entrepreneurship and Innovation  
CRICOS Course Code: 099312K



### Information Technology

Diploma of Information Technology  
CRICOS Course Code: 105687B

Bachelor of Information Technology  
CRICOS Course Code: 105686C

Master of Information Technology  
CRICOS Course Code: 113602A



### English for Academic Purposes

EAP Course - 12 weeks  
CRICOS Course Code: 105993C

EAP Course - 24 weeks  
CRICOS Course Code: 105992D

## WHY CHOOSE CIHE?

- Small classes / individual attention
- Very low student / teacher ratio
- One-on-one assistance with English language development
- Dedication to success for our students
- Industry linkages
- Support for transition into your career
- Courses taught by PhD-qualified academic staff
- Merit-based scholarships
- Internship opportunities available in all courses
- Employment assistance
- Central location with excellent public transport links

## Crown Institute of Higher Education

☎ 1300 171 094 | ✉ info@cihe.edu.au | 🌐 www.cihe.edu.au  
TEQSA Provider ID: PRV 14301 | CRICOS Provider Code: 037448 | ABN: 22 611 573 301

### OUR CAMPUSES

North Sydney Campus: 116 Pacific Highway, North Sydney NSW 2060  
North Sydney Campus: Level 5, 213 Miller Street, North Sydney NSW 2060  
Sydney CBD Campus: Level 11, 303 Pitt Street, Sydney NSW 2000  
Sydney CBD Campus: Level 5, 303 Pitt Street, Sydney NSW 2000  
Hurstville Campus: 2 Woodville Street, Hurstville NSW 2220  
Canberra Campus: Level 1, 5 Fussell Lane Gungahlin, ACT 2912



### Further Scholarship

Receive up to 15% scholarship each semester based on the discounted price.  
Average High Distinction = 15% Discount  
Average Distinction = 10% Discount  
Average Credit = 5 % Discount  
Conditions apply.



### Internship opportunities

Eligible students receive 3 months guaranteed internship within their field of study at well established companies.



### Course Promotions

Sign up and receive between 20 to 30% on our Bachelor and Master courses.  
Conditions apply.



### CIHE Careers

Professional career coaching is available at CIHE. This service enables students to maximise their opportunity for employment.